



平成21年1月9日

各 位

会 社 名 株式会社 中山製鋼所
代表者名 代表取締役社長 藤井 博務
(コード番号 5408 東証・大証一部)
問合せ先 取締役経理部長 松岡 雅啓
(TEL 06- 6555 - 3035)

投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ

当社が保有する時価のある有価証券(「其他有価証券」に区分される投資有価証券)のうち、時価が簿価に比べて著しく下落しているものについて、平成21年3月期第3四半期末において、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する見込みとなりましたのでお知らせします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、洗替法を採用しているため、平成21年3月期末日の時価により、計上額が変動する場合もしくは評価損を計上しない場合があります。

記

1. 平成21年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額

(連結)

(A) 平成21年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額	1,900 百万円	
(B) 平成20年3月期の純資産の額 (A/B×100)	83,625 百万円	(2.3%)
(C) 平成20年3月期の経常利益の額 (A/C×100)	2,702 百万円	(70.3%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	3,842 百万円	(49.5%)

(個別)

(A) 平成21年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額	1,864 百万円	
(B) 平成20年3月期の純資産の額 (A/B×100)	53,992 百万円	(3.5%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	4,716 百万円	(39.5%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	2,628 百万円	(70.9%)

(ご参考) 当社の第3四半期末は、12月31日であります。

2. 今後の見通し

平成21年3月期の業績に与える影響については、現在精査中であり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに公表いたします。

以上